

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 音 楽 I 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 高 校 生 の 音 楽 ① 〕 〔 使 用 副 読 本 : Music Navigation 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
後 期	1	日本の伝統音楽、民謡	日本の伝統音楽の特徴を知り	p60～67	p42,43
		楽典（音名）	鑑賞を通して日本文化を学ぶ。	p140～143,150	p65～67
	2	歌唱、楽典（記譜法、写譜）	「校歌」の歌唱。記譜の方法を学ぶ。	p150	p64,65,ナビ
		器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲	
	3	歌唱（イタリア歌曲）	イタリア歌曲「Volevo un gatto nero」	p14,15	
		楽典（楽語）	楽語を理解する。	p153	p97～100
	4	楽典（音階、音価）	音階と調、音価を学ぶ。	p150	p78～85
		器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲	
	5	鑑賞	クラシック音楽の名作の聴き方を学ぶ。	教員が選曲	
	6	楽典（拍子）	様々な拍子の数え方と標記方法を学ぶ。		p68～73
		器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲	
期	7	西洋音楽史①	バロック時代、古典派の音楽を学ぶ。	p128～133	p8～19
	8	楽典（コードネーム）	和音とコードネームを学ぶ。	p156,157	p86～90
		器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲	
	9	西洋音楽史②	ロマン派、近現代の音楽を学ぶ。	p134～137	p20～37
期	10	創作	拍子を理解して作曲する。		
		器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲	
	11	オペラ鑑賞	La traviata	p44～45	
期	12	世界の民族音楽	世界の民族音楽から異文化理解を深める。	p54～59	
		器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲	

レ ポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	日本の音楽	11/6
		音名	
	2	写譜	
		音価	
		音階	
	3	イタリア歌曲	
		「Volevo un gatto nero」	
		音楽用語	
後 半	4	鑑賞	12/4
	5	西洋音楽史	
		作曲	
	6	アルトリコーダー運指	
		世界の民族音楽（ハワイ）	
		コードネーム	

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 音 楽 II 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : Tutti + 〕 〔 使 用 副 読 本 : Music Navigation 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
後 期	1	日本の伝統音楽、民謡	日本の伝統音楽について理解を深め	p74～77	p42,43
		楽典（音名）	鑑賞を通して日本文化を考察する。	p116～117	p65～67
	2	歌唱（英語）	Let it be	P34口絵③④	
		器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲	
	3	楽典（コードネーム、音階）	和音とコードネーム、短音階を学ぶ。	巻末⑩～⑫	p78～90
		鑑賞	クラシック音楽の名作を味わう。	教員が選曲	
	4	楽典（音楽用語、略記号）	音楽用語全般について理解を深める。	p125	p97～103
		器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲	
	5	西洋音楽史	音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わりを学び、	p84～97	p8～37
			生み出される表現上の効果を感じ取る。		
	6	世界の民族音楽	世界の民族音楽から異文化理解を深める。	p78～81	
		器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲	
期	7	創作（変奏）	個性豊かに創作表現を創意工夫する。	p22,23	p82,83
		移調	調が持つ役割について考える。		p84,85
	8				
	9				
期	10				
	11				
期	12				

レ ポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	日本の伝統音楽（平曲）	11/6
		日本音名	
	2	英語の曲「Let it be」	
		コードネーム	
	3	世界の民族音楽	
		（インド・アフリカ）	
		短音階	
後 半	4	コードの構成	12/4
		鑑賞	
	5	西洋音楽史	
		変奏	
	6	アルトリコーダー運指	
		移調	
		速度記号	

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 美 術 I 〕 〔 単 位 数 : 2 単 位 〕 〔 使 用 教 科 書 : 高 校 生 の 美 術 1 〕 〔 使 用 副 読 本 : な し 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
後 期	1	模写デッサン	写真を見ながらスケッチブックに描き写す。	132～ 135	
	2	模写デッサン	写真を見ながらスケッチブックに描き写す。	132～ 135	
	3	模写デッサン	写真を見ながらスケッチブックに描き写す。	132～ 135	
	4	レタリング	自分の名前を明朝体とゴシック体で書く。	149	
	5	レタリング	自分の名前を明朝体とゴシック体で書く。	149	
	6	レタリング	自分の名前を明朝体とゴシック体で書く。	149	
	7	色彩構成	色の3原色と白・黒の絵の具だけを使い、虹をテーマにした絵を描く。	152～ 154	
	8	色彩構成	色の3原色と白・黒の絵の具だけを使い、虹をテーマにした絵を描く。	152～ 154	
	9	色彩構成	色の3原色と白・黒の絵の具だけを使い、虹をテーマにした絵を描く。	152～ 154	
	10	デザイン	キャラクターデザイン使用目的を想定し、正面、側面、背面の3方向から設定画を描	80・81	
	11	デザイン	キャラクターデザイン使用目的を想定し、正面、側面、背面の3方向から設定画を描	80・81	
	12	デザイン	キャラクターデザイン使用目的を想定し、正面、側面、背面の3方向から設定画を描	80・81	

レ ポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	デッサン基礎	11/6
		「5段階のグレースケール」	
		陰影・中間色の表現	
	2	レタリング	
		「永」	
		デザインの基礎	
	3	水彩	
		「屋内の風景」	
		水彩技法 パースの概念	
後 半	4	デッサン	12/4
		「立体感の表現」	
		タッチの概念 光源の意識	
	5	ピクトグラム	
		「クラブ活動」	
		コンセプトを立てる 要素の引き算	
	6	鑑賞・美術史	
		絵画・彫刻・デザインの歴史	
		作品に対する言語表現	

2025年度

学 習 指 導 計 画 表

長尾谷高等学校

〔 科 目 名 : 書 道 I 〕 〔 単位数 : 2 単位 〕 〔 使用教科書 : 書道 I 東京書籍 〕 〔 使用副読本 : 高校 硬筆の練習 教育出版 〕

学 期	授業回	項 目	教 科 書		副読本
			内 容	ページ	ページ
後 期	1	楷書の学習	欧陽詢の整然として隙がない楷書を臨書する。	p 16～33	適宜
	2	九成宮醴泉銘	楷書の特徴と唐の四大家について学ぶ。	p 22～23	
	3	行書の学習	行書の特徴を理解し、用筆法を学ぶ。	p 38～57	適宜
	4	風信帖	空海について学ぶ。 文字の配置に気を付けて、臨書する。	p 52～57	
	5	隸書の学習	隸書の特徴を理解する。 蔵鋒、波磔などの用筆法を学ぶ。	p 62～65	適宜
	6	曹全碑	曹全碑を臨書する。	p 64～65	
期	7	仮名の学習	仮名の成り立ちを学ぶ。 いろは歌	p 76～85	適宜
	8	蓬萊切	蓬萊切を臨書する。	p 86～87	
	9	漢字の書の創作	古典の臨書や鑑賞を通して身に付けた表現方法をもとに、手順に従って漢字の書の制作をする。	p 70～73	適宜
期	10	創作	草稿を作り、練習して作品にまとめる。		
	11	漢字仮名交じり文	自分の表現を目指して、制作の意図に応じて、工夫する。	p 106～123	適宜
期	12	創作	これまでに学んだ名筆の表現を生かして、創作する。		

レポ ー ト			
前／後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	「 清 泉 」	11/6
	2	「 風 信 雲 書 」	
	3	ペン字教本 原稿用紙の書き方を学ぶ	
後 半	4	「 世 紀 」	12/4
	5	「おほぞらに むれたつ へかな」	
	6	漢字の成立と変遷 中国と日本の書家	